

年 度 評 価 シ ー ト

課名 スポーツ振興課

施設の名称 駿府城ラン・アンド・リフレッシュステーション	指定管理者名 スポーツ・まちづくり共同事業体 代表：(公財) 静岡市スポーツ協会				
1 履行状況					
業務仕様書及び事業計画書に従って適切に履行されている。					
(1) 維持管理業務 施設管理業務、利用者へのサービス提供に関する業務を実施したほか、建物等の維持管理業務について、一部を第三者委託により実施し、各業務とも事業計画に従って適切に行われている。 主な修繕業務は以下のとおりである。 ア 「土足禁止」シート設置修繕 イ テラス雨樋取付修繕					
(2) 施設利用者数 令和3年度の事業実施状況は以下のとおり 単位：人					
	令和3年度			令和2年度	
	目標値 (事業計画)	実績値	達成率	実績値	増減率
全利用者	28,000	23,769	84.4%	14,407	65%
(ロッカー利用者)	5,100	3,106	60.9%	2,298	35.1%
(参考) 令和元年度 実績値 (合計)：25,993人 増減率：-8.6%					
新型コロナウイルス感染症の影響により、ロッカー使用数制限などの対応を実施したことで目標値には届かなかったが、その影響を除けば、キャッシュレス決済導入など利用者増に向けた実施するなど、業務は適正に実施できている。					
(3) 事業実施状況 令和3年度の事業実施状況は以下のとおり					
■ 指定事業及び自主事業参加者数 単位：人					
	目標値 (仕様書)	実績値	達成率		
	570	510	89.4		
新型コロナウイルス感染症の影響により、教室の定員数を減らすなどの対応を実施したことにより、参加者数の目標値には届かなかったが、テラス使用や施設特性を生かした新規屋外事業を行うことで利用者増に向けた取組も見られた。					
指定事業である施設の認知度向上のためのスポーツ教室「親子自然体験」「テラ					

スヨガ」「シニアウォーキング」などでは、各対象者別に、立地や施設特性を生かした多彩な事業展開を行っており、取組みは評価できる。参加者総数がまだ少ないため、持続的な事業実施のためにも今後の利用者拡大に期待したい。

「静岡市スポーツ推進計画における指標：成人の週1回以上のスポーツ実施率68%以上」の目標に寄与する、指定事業及び自主事業参加者数580人は444人と達成できていない。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

利用者からの意見・要望に対しては適切な対応がとられている。

今後とも、多様な利用者の意見・要望に対して、親切丁寧な対応が取られることを期待する。

【具体的な意見・要望と対応状況】

意見・要望

土足で入っていいのか？分かりづらい。

対応・回答等

更衣室入口に「土足厳禁」のシートを設置した。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

（1）利用者満足度調査

施設利用者に対して、満足度調査を実施した。

施設利用者満足度調査では、集計総数90件、①職員の態度・対応 ②施設の使いやすさ ③施設の清潔度 という3項目について調査を行い、「大変良い」「良い」という回答が90件で100%という結果だった。市が仕様書に規定する目標値90%を達成しており、利用者にとって有益な施設運営がなされていることがわかる。ただし、集計総数が少ないため、より多くの回答数が得られるようアンケートの徴収方法や実施回数を検討してもらいたい。

（2）市民アンケート

各施設の認知度、利用状況、興味のあるスポーツなど、市内在住の15歳から80歳の男女1,000人に対し、スポーツ施設に関する意識調査をインターネット上で実施した。施設の認知度は13.9%であり、前年度実績15.9%と比較して2%の減少、認知度の低さが課題である。施設の広報・PR方法の工夫や、利用者の裾野を広げる事業展開を通じて、認知度の更なる向上に取り組んでいただきたい。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務における収支状況については、適正に執行されており、良好である。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

管理運営全般については、事業計画書に従い適切に運営されており、利用者からの意見に迅速かつ丁寧に対応している。また、新型コロナウイルス感染症対策については、ロッカーの間引き、消毒液やパーテーション等衛生設備の設置、定期的な換気及び清掃や、利用者への注意喚起（ポスター掲示、施設HP掲載）など適切な対策を行っている。

令和3年4月より民間団体と協働により利用料金等の、キャッシュレス決済 (PayPay) を導入し、軽装での利用を好むランナー利用者のニーズに答えた対応であり、評価できる。

施設維持管理については、日常点検の実施により施設全体の状況を把握し、必要に応じて専門業者及び職員自ら修繕を実施することで、利用者が安心・安全に利用できる施設を提供している。また、清掃業務を委託業者に任せるだけでなく、職員自ら施設内外の美化活動に努めており、施設利用者満足度調査においても好評を得ていることから、今後も継続して取り組んでいただきたい。

事業全般については、教室受講者アンケートでも全員が満足していることから、良好に運営されたことが伺える。

自主事業は、グルランR&Rほか、駿府城跡周辺の賑わい創出に繋がる各種事業を展開。観光ボランティアガイドの説明を受けながら歴史名所巡りを行う駿府ぶらウォークや、周辺飲食店と連携しまち巡りを行うポイントラリーウォークなど、ウォーキングを通じた健康増進と歴史文化教養の向上及び地域活性化に寄与する事業を継続実施した。また、民間事業者であるSo Juiceと連携し健康増進に配慮した飲食サービスを行うことで、ランナー以外の利用も呼び込むことができている。どの事業も利用者から好評のため、今後も駿府城跡周辺施設と連携した事業展開に期待する。

そのほか、屋外のウッドデッキスペースにて、好評のヨガ教室やノルディックウォーキング大会発着点等の活用に加え、静岡救命サポート協会による「秋空救命教室」の実施、(株) TOKAIホールディングスが実施する駿府城公園活性化プロジェクト「Park&FIT」では受付会場とするなど、施設の特性を生かした有効活用を努めた。さらに、オリンピック・パラリンピック期間は、東京オリンピックで聖火リレーランナーが使用したトーチを展示するなどスポーツの推進に寄与したと言える。施設の認知度が低いため、積極的な広報活動及び関係機関との連携による施設の利用促進に積極的に取り組み、指定管理者の創意工夫ある事業運営に期待する。